

令和6年度 事業計画書

感染症の脅威は現在も継続しており、本年1月には再度新型コロナウイルス感染症が発生し利用者37名、職員11名のクラスターとなりました。

昨年、新型コロナウイルス感染症が5類に変更されたことで、今回のクラスター発生中は安全を期しながら入所や面会などの制限をできるだけ緩和することに努め、各々の利用者・家族の都合に合わせた介護サービス提供を図り、利用者数の減少を最小限に抑えることができました。令和6年度も地域住民に対して安全・安心に基づいた更なる安定した介護サービス提供のための事業継続を図っていきます。

1. ホームページの構築（事業紹介、サービス、実績紹介）について

事業内容やサービスの紹介・説明から顧客に価値や体験が分かりやすく伝わるように、ブログを取り入れ幅広いテーマを取り上げていく。

施策を実行→分析→改善という流れで継続的に構築していく。

2. 介護職員確保について

介護職員は募集困難な状況が継続しており今後さらに深刻化していく現状がある。

対策として求人幅を持たせ、新たに専門学校や高等学校にも積極的に求人募集を行っていく。

より魅力的な募集をかけるためにもプリセプターシップを確立しスムーズに成長（育成）ができることをアピールしていくようにする。

プリセプター制度とは先輩職員と新人職員が一定期間同じ業務を行いマンツーマンで指導に当たる制度のこと。

新年度からの新人職員の環境を整え直し職員の採用・定着を促すことを目的とする。

業務習得内容をより具体的に分類し、初級・中級・上級・エキスパートと段階的に習得できるように指導を行っていく。

プリセプターの習得段階による評価を行うことでキャリアパスの基準をより具体的な形に構築していく。

3. 定期人員配置転換制度について

当施設の運営理念に基づき通所利用から看取りまでの6バージョンの対応サービスを底上げし、広い視野と知識・技術を経験の中から取得できる環境を職員に提供し、今後増加する認知症の利用者に適切なケアができる人材をより多く育成することを目的とする。

デイケア職員も対象とし、面談を通じて通所から入所棟へ、入所棟から通所への配置交流を検討していく。

4. 利用者数の具体的な目標

安定した運営を行っていくために在宅強化型を維持し、一日平均利用者数は入所 86.5 人、通所 25 人を目標とする。目標達成のため老健施設としての業務の合理化と質の向上を図り競争力を高めていく。

5. 運転資金借入れについて

年間賞与資金として 6000 万円、物価高騰や感染対策を考慮した運転資金として 1000 万円以内、施設設備（空調、ボイラー、厨房など）の老朽化対策に 1 億円以内の借入を行う。

職員の増員予定はなく人件費を抑え、入所・通所利用者数をコロナ禍以前に戻すことで増収増益を見込んでいる。

6. 今年のスローガンを『成長の年』と定め職員の結束を高めていく。